

国民の願い オスプレイ配置撤回は少数否決

日の丸を議場に掲揚は多数で可決

「良識ある議会なのか？」との声も

9月議会では日本共産党から「米軍輸送機オスプレイの配置撤回を求める意見書」が提出されましたが、残念ながら日本共産党4議員の他、猪股、園部議員（いずれも政策会議）の賛成を得ましたが、少数で否決。オスプレイは開発段階から欠陥機と指摘され、今年になっても4月モロッコで、6月にはアメリカのフロリダでの墜落事故を始め、すでに5年間で57件の事故を起こしています。沖縄の

一方、市議会に国民の命を危険にさらすことになる配備を撤回してほしいとの当然の願いが叶いませんでした。



V22 オスプレイ

旗・市旗を掲揚するとの請願は賛成多数で可決。

共産党などが「日の丸はアジア侵略の旗頭として使われた。国旗法の審議で掲揚を強制しないとの確認がある。言論の府に賛否のあるものを強制すべきではない」と反対討論しましたが、共産党4議員と猪股議員の反対のみでした。市民の間では「これで良識の議会なのか」と批判の声が広がっています。

市議 木村ともり

旧菖蒲町 全ての公共料金が値上げ

旧菖蒲町出身議員は全ての値上げ議案に賛成

9月議会、下水道と農業集落排水使用料の改定がされ、合併後に先送りとなっていた全ての公共料金が統一されました。これで旧菖蒲町は全ての公共料金が値上げです。住民票の取り扱い手数料、水道料金、給食代、国保税、そして今回の下水道料金。さらに菖蒲は都市計画税の導入です。これらの合計額を、夫婦と子ども2人を基本に算出してみると、年間12万5262円の値上げです。

に、なぜ菖蒲の公園にはないのか。負担増の上に住民サービスまで低下してしまっているのか」との質問に、拍手喝采でした。菖蒲地区市民の切実な思いと重なったからではないでしょうか。国による年金の引き下げや住民税の増税などさらに追い打ちをかけています。暮らしを守る施策こそ第一に考えるべきです。旧菖蒲町出身の議員は、市民負担となるすべての議案に賛成でした。日本共産党は、負担増となる議案全てに反対をしました。

統一された国保税なぜ高い

共産党は「引き下げを要求」

均等割）で行っている他の自治体との格差は少ない。国保税の引き下げはしない。との答弁でした。

下水道・農業集落排水使用料金値上げ反対

平成23年度の決算では10億7千6百万円の収支残金を使い、大幅にみている医療費の伸び率を見直し、法定外繰入を増やせば引き下げが可能で

市議 渡辺まさよ

旧菖蒲町では一人暮らしの場合

市議 石田としはる



下水道使用料 平均の値上げ率6.3%

20 m²使用時の比較

	新料金 (円)	旧料金 (円)	増減率
旧久喜市	1785	1575	13.30%
旧菖蒲町	1785	1732	3.10%
旧栗橋町	1785	2152	-17.10%
旧鷺宮町	1785	2047	-12.80%

合併による統一で国産ゼロのモデルケース保税の改定がありまし。これまでもたくさん市の要求が出ていた中での統一でした。担当課では、法定外繰入7億8千万円、特定検診の無料化、ガン検診の個別通知と努力しています。しかし、保険税は10万を超える値上げが続出し、所得2百万円、4人家族資

どまり、高くて払いきれない現状をしつかり見て、市民の命と健康を守るべきです。